

食品の安全性に関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県では、県民の皆さまの安全で安心な食生活を確保するため、「岐阜県食品安全行動基本計画」に基づき、必要な施策を実施しています。

県民の皆さまの意識や意向を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：976人（食品安全対策モニター等）

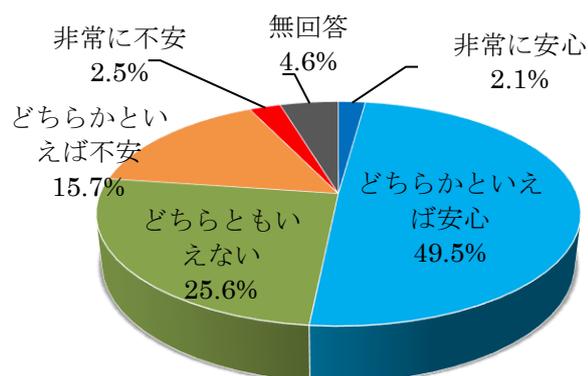
調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和5年11月1日～令和5年12月20日

回収結果：281人（回答率28.7%）

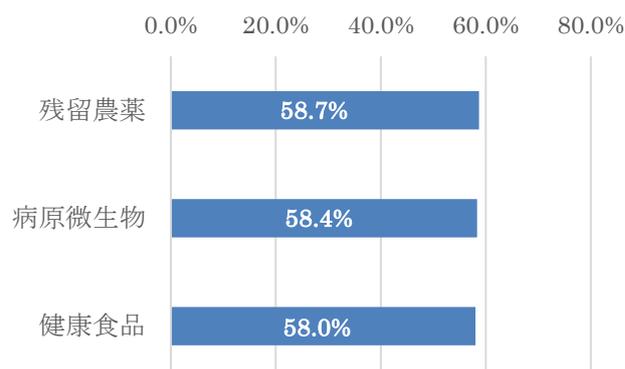
3 結果概要

【食品への安心感について】

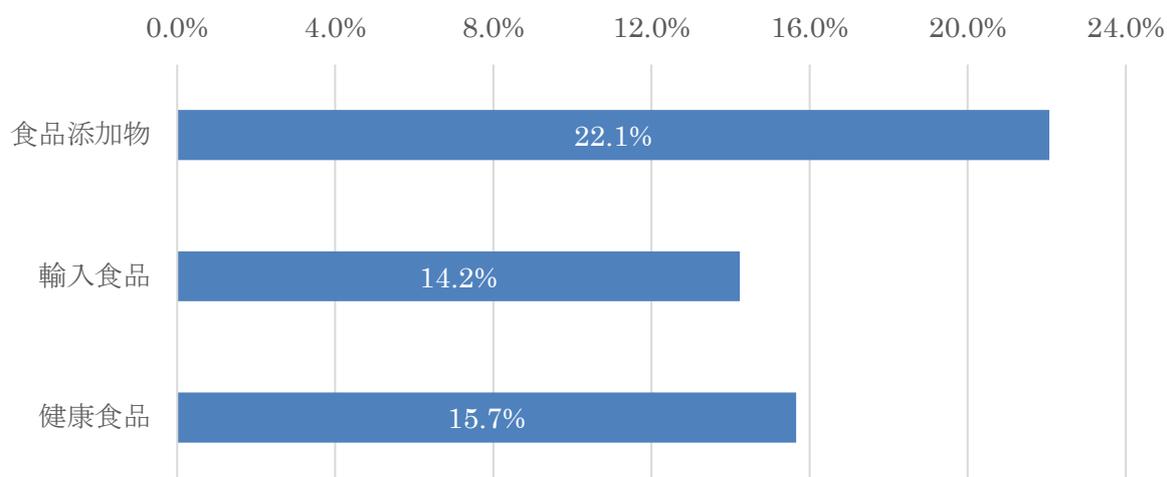


【不安に感じる項目】（上位3項目）

※「非常に不安」または「どちらかといえば不安」と答えた方の割合



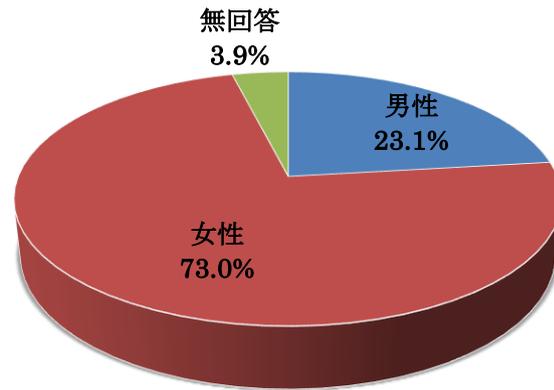
【リスクコミュニケーションで取り扱ってほしいこと】（上位3項目）



4 回答者属性

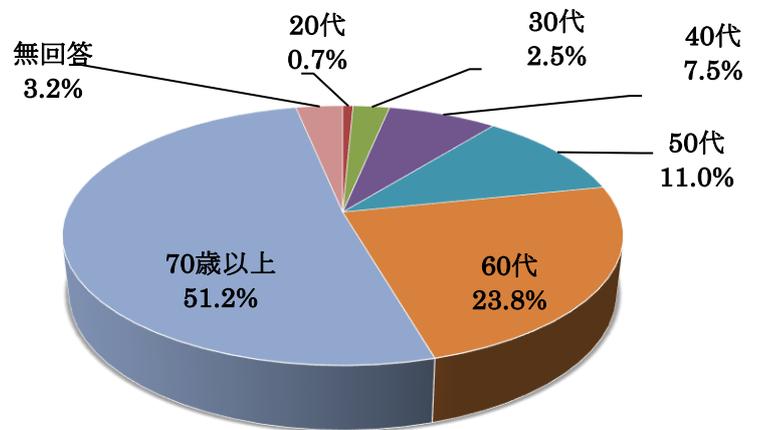
性別

	人数	割合
男性	65	23.1%
女性	205	73.0%
無回答	11	3.9%
合計	281	100.0%



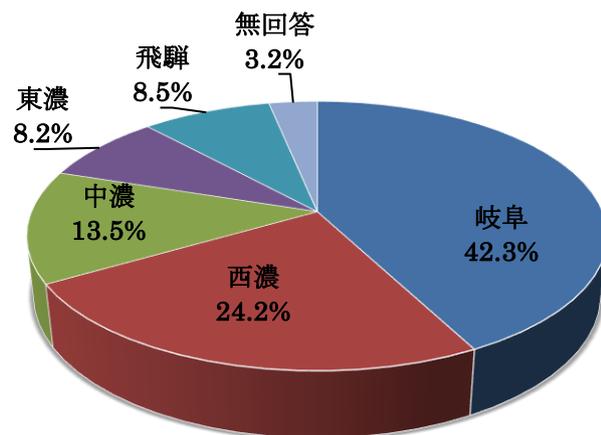
年齢別

	人数	割合
10代	-	0%
20代	2	0.7%
30代	7	2.5%
40代	21	7.5%
50代	31	11.0%
60代	67	23.8%
70代以上	144	51.2%
無回答	9	3.2%
合計	281	100.0%



居住圏域別

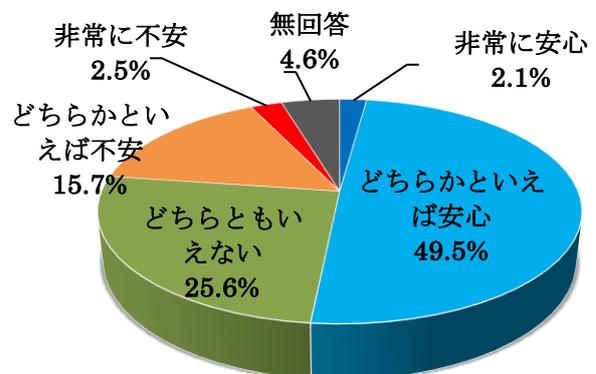
	人数	割合
岐阜	119	42.3%
西濃	68	24.2%
中濃	38	13.5%
東濃	23	8.2%
飛騨	24	8.5%
無回答	9	3.2%
合計	281	100.0%



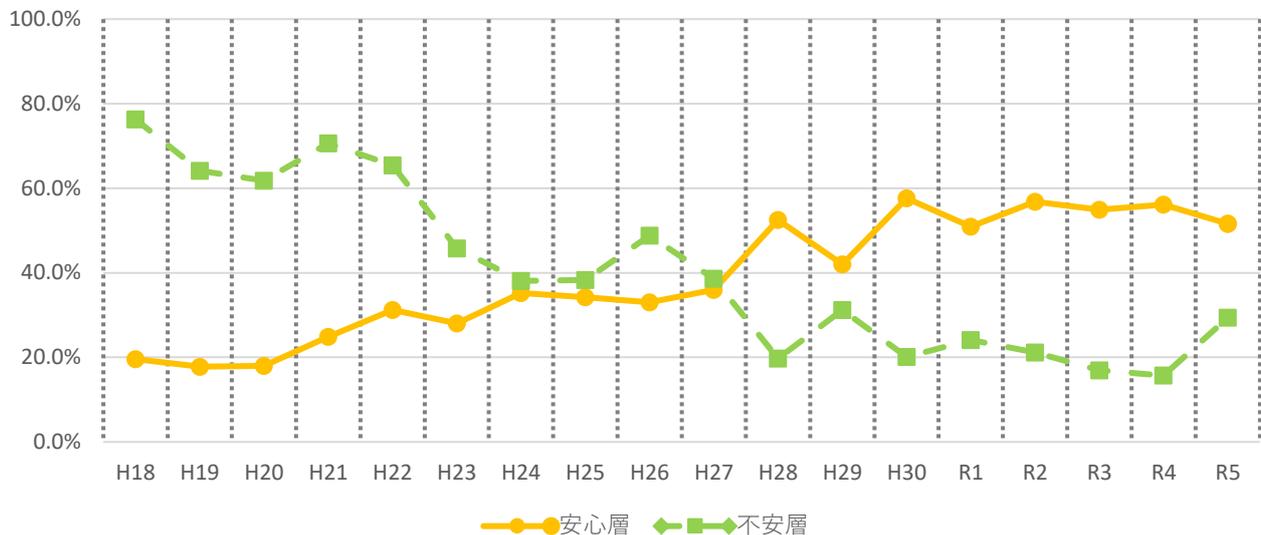
5 調査結果

問1 あなたは、普段食べている食品の安全性について、どのように思っていますか。

	人数	割合
非常に安心である	6	2.1%
どちらかといえば安心である	139	49.5%
どちらともいえない	72	25.6%
どちらかといえば不安である	44	15.7%
非常に不安である	7	2.5%
無回答	13	4.6%
合計	281	100.0%



【参考】平成8年～令和5年までの食品に対する安心感の変化



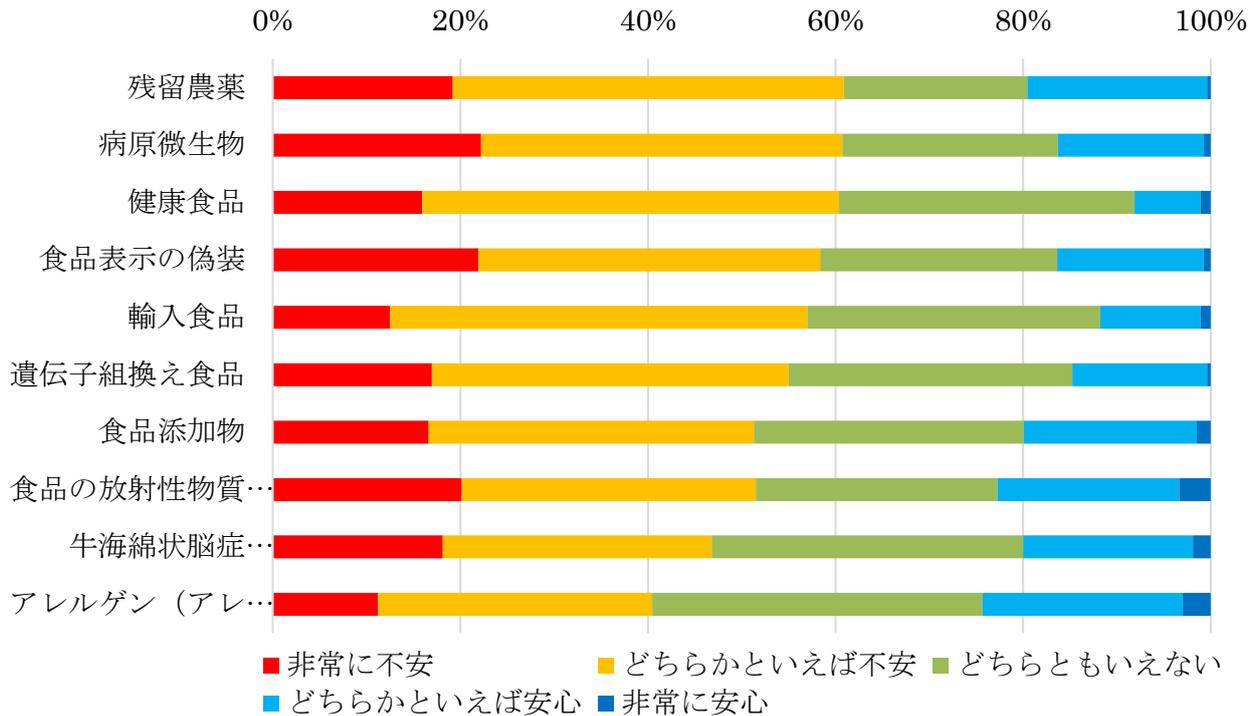
問2 各項目について、食品の安全性の観点から、あなたはどのように感じますか。

(複数回答)

(単位：人)

	非常に不安	どちらかといえば不安	どちらともいえない	どちらかといえば安心	非常に安心
残留農薬	52	113	53	52	1
病原微生物	60	104	62	42	2
健康食品	43	120	85	19	3
食品表示の偽装	59	98	68	42	2
輸入食品	34	121	85	29	3
遺伝子組換え食品	46	103	82	39	1
食品添加物	45	94	78	50	4
食品の放射性物質汚染	54	84	69	52	9
牛海綿状脳症 (BSE)	48	76	88	48	5
アレルギー	30	78	94	57	8
その他	17	26	18	11	3

※「非常に不安」または「どちらかといえば不安」と答えた方の合計が多い項目順



「その他」のうち主なもの

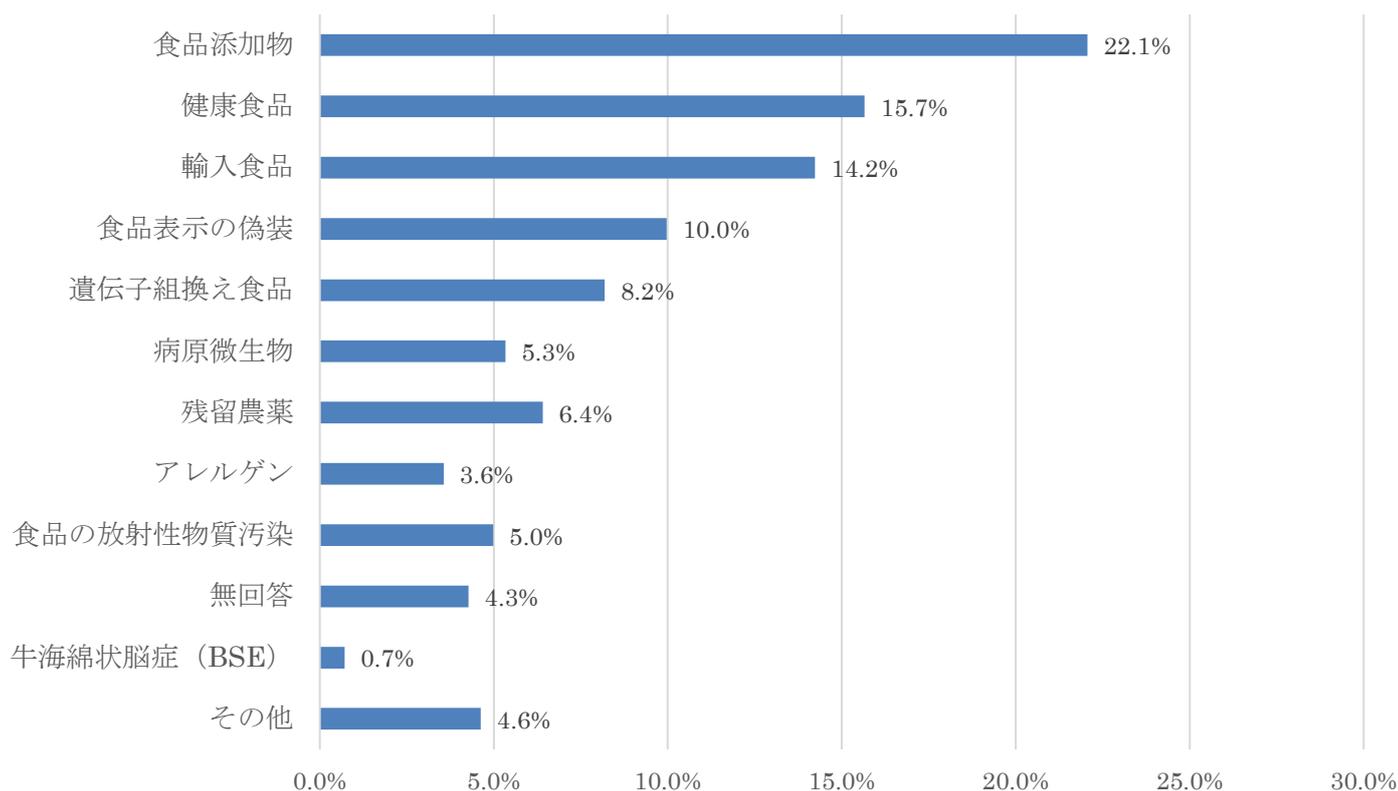
- ・【非常に不安】家畜用飼料の安全性
- ・【どちらかといえば不安】飲食店等の衛生管理
- ・【どちらかといえば不安】検査実施後の対応
- ・【非常に不安】加工食品の安全性（冷凍食品、レトルト食品、人工甘味料）
- ・【非常に不安】食品に関する基準をよく知らない（海外と日本の基準の違いが不安）
- ・【非常に不安】水道水やペットボトルの天然水の安全性
- ・【どちらかといえば不安】食品の価格の高騰（国内の食糧の自給率）
- ・【非常に不安】食中毒（アニサキス、O157）
- ・【どちらかといえば不安】給食の安全性

【参考】不安と答えた方が多い上位3項目

- 令和2年度 輸入食品、食品添加物、残留農薬
- 令和3年度 残留農薬、病原性微生物、食品表示の偽装
- 令和4年度 食品表示の偽装、残留農薬、食品添加物

問3 岐阜県では、消費者、事業者、行政の三者で情報や意見をお互いに交換する、「リスクコミュニケーション事業」を推進しています。今後、リスクコミュニケーション事業（講習会や意見交換会）で取り上げてほしいテーマについて、次の中から1つあげてください。

	人数	割合
食品添加物	62	22.1%
輸入食品	40	14.2%
健康食品	44	15.7%
食品表示の偽装	28	10.0%
遺伝子組換え食品	23	8.2%
病原微生物	15	5.3%
残留農薬	18	6.4%
アレルギー	10	3.6%
食品の放射性物質汚染	14	5.0%
無回答	12	4.3%
牛海綿状脳症（BSE）	2	0.7%
その他	13	4.6%
合計	281	100.0%

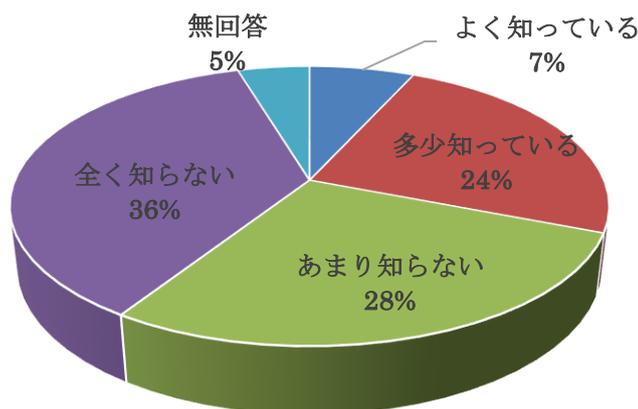


「その他」のうち主なもの

- ・食品ロスも含め、消費期限・賞味期限の判断の仕方
- ・食品の検査の方法について、具体的な内容
- ・食料の自給率について
- ・日本と海外の食品に関する基準について（農薬、添加物）
- ・水道水の汚染による健康被害について
- ・輸入食品の放射性物質対策

問4 「HACCP（ハサップ）」について知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	19	6.8%
多少知っている	68	24.2%
あまり知らない	79	28.1%
全く知らない	102	36.3%
無回答	13	4.6%
合計	281	100.0%

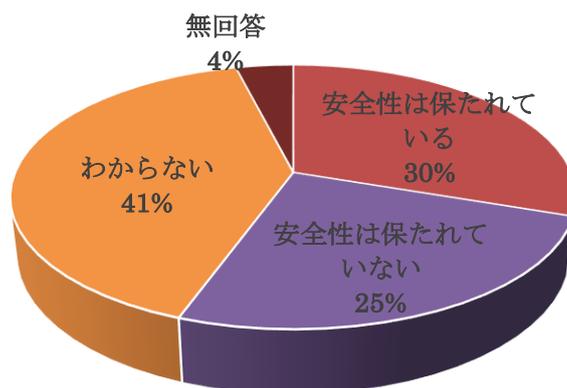


問5 （食品の安全性に対する安心または不安について、昨年度と比較して変化があった方にお尋ねします。）変化したきっかけや理由等がありましたら、具体的に記入してください。（自由記述）

- ・海外と日本で、食品に対する基準の違いがあると知ったから（日本の方が緩く設定されている）。
- ・飲食店等利用者による話題作りのためのいたずらなど、食品の安全性を脅かす事件があったから。
- ・水道水の汚染の報道があったから。健康への影響が知りたい。
- ・ALPS処理水の海洋放出が始まったため、どうしても不安がある。
- ・お弁当屋さんで大規模な食中毒があったため、不安が高まった。
- ・食品の価格が高騰しているため、コストを抑えるために産地や表示を偽った商品が流通していないか心配。
- ・You-Tubeなどの動画で食品の添加物や輸入食品に関する動画を見るようになり、食品の安全性に対して不安が生まれた。
- ・家族が食中毒になり、食品の安全性や衛生管理について深く考える様になった。
- ・輸入の食品が増えてきていると思うが、国産の食品よりも安く販売されているのを見ると、安全性の基準を満たしているのか不安になる。
- ・自分にアレルギーがあることを知って不安になった。
- ・今年はコロナの規制が緩和されて、外食することも増えたので、食品の衛生管理や安全性への関心が高くなった。
- ・GAPマークやGIAHSマークをよく目にするようになり、安心感が高まった。
- ・昨年度と比較して、食品の安全性に対する安心感は特に変化していない。

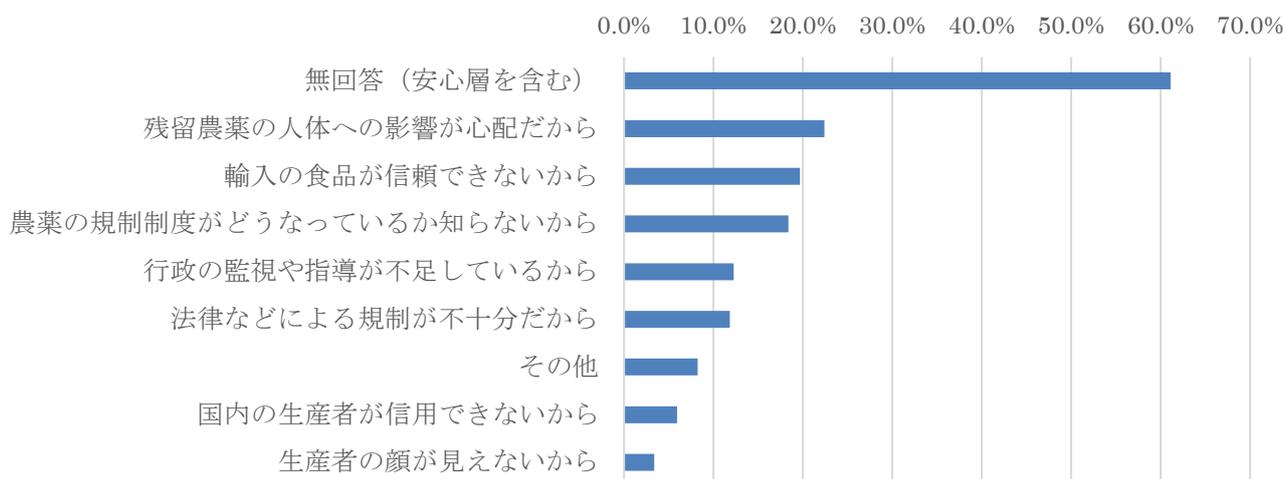
問6 国内で流通する食品に残留する農薬の安全性について、どのように思っていますか。次の中から1つあげてください。

	人数	割合
安全性は保たれている	85	30%
安全性は保たれていない	71	25%
わからない	114	41%
無回答	11	4%
合計	281	100%



問7 国内で流通する食品に残留する農薬の安全性について、不安を感じている理由は何ですか。次のうち、はまるものすべてあげてください。

	人数	割合
無回答	289	61.1%
残留農薬の人体への影響が心配だから	106	22.4%
輸入の食品が信頼できないから	93	19.7%
農薬の規制制度がどうなっているか知らないから	87	18.4%
行政の監視や指導が不足しているから	58	12.3%
法律などによる規制が不十分だから	56	11.8%
その他	39	8.2%
国内の生産者が信用できないから	28	5.9%
生産者の顔が見えないから	16	3.4%



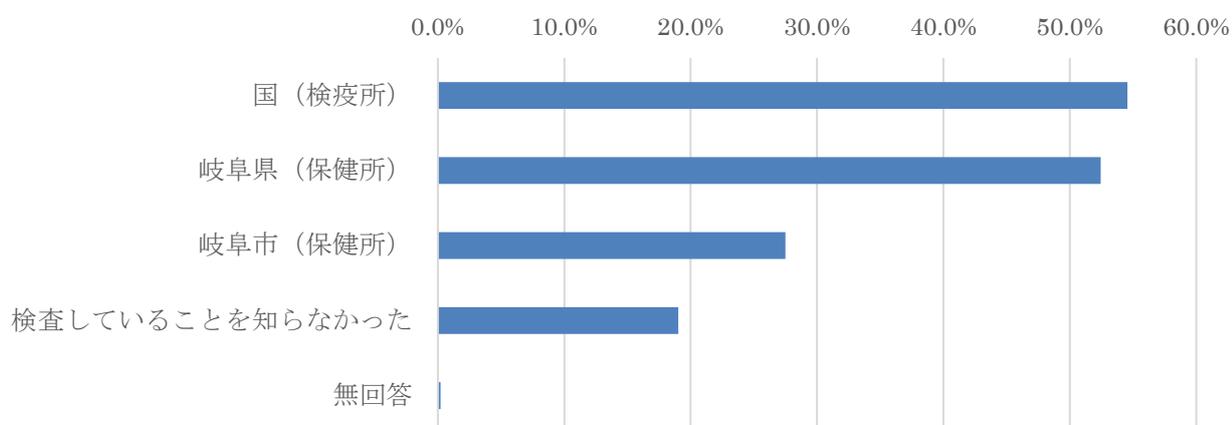
「その他」のうち主なもの

- ・販売用の農作物は、輸送等の際に保存をきかせるために農薬を多く散布すると聞いたことがある。
- ・自作の野菜は農薬を使用しないと虫に食われて穴だらけになるが、スーパー等で販売されているものは状態がよいので、たくさん農薬を使用しているのではないかと考えている。

問8 国（検疫所）、岐阜県及び岐阜市（保健所）では、食品衛生法に基づき残留農薬の検査を実施しています。

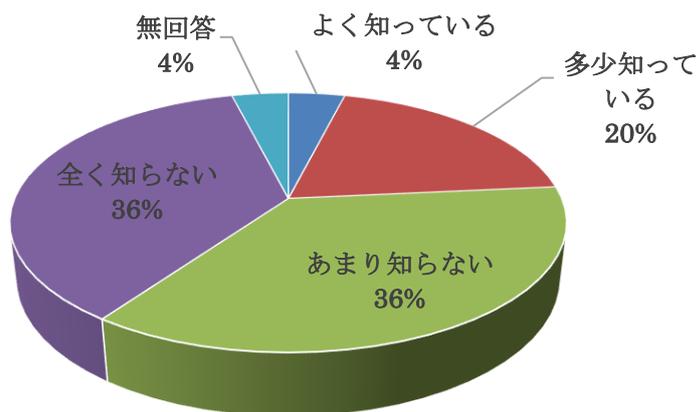
次のうち、食品衛生法に基づき残留農薬の検査を実施していることを知っていた機関について、あてはまるものをすべてあげてください。

	人数
国（検疫所）	258
岐阜県（保健所）	248
岐阜市（保健所）	130
検査していることを知らなかった	90
無回答	1



問9 農薬について「一日許容摂取量（ADI）」や「急性参照用量（ARfD）」という考え方があることを知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	13	2.7%
多少知っている	69	14.6%
あまり知らない	125	26.4%
全く知らない	237	50.1%
無回答	29	6.1%
合計	473	100%



問 10 その他、食品の安全性に関する県の施策に対して、ご意見やご感想などございましたら、具体的に記入してください。（自由記述）

○食品安全に関する情報提供やリスクコミュニケーション等について

- ・もっと食の安全性について講義をしてほしい。自治会、子供会、学校、図書館、学校など、様々な場所で食品の安全性について聞ける機会を設けてほしい。
- ・ネットには食品の安全性について、様々な情報が載っていて、不安を煽られる。不確かな情報を信じなくていいように、食品の安全性について広報に力を入れてほしい。
- ・食品の検査について、問題がなかった時よりも、問題があったときに広く情報を発信することが大切。
- ・食品の安全性に関する情報で、横文字（英語）が使われていて理解しにくいことがある。もう少しわかり易く記入されているとよい。
- ・消費者と食品関連事業者が直接関わられるようなシステムができるとよい。
- ・他県で大規模な食中毒が起きた際に、岐阜県における流通状況や対策を発信してほしい。
- ・食中毒が怖いので、きのこや野草の種類について情報を提供してほしい。
- ・最近では派手な色のお菓子等もあって添加物が過剰に使用されていないか心配。製造過程の見学をしてみたい。

○農薬について

- ・日本の農薬の使用基準が外国より緩いときいたことがあり、不安。
- ・農薬を減らす試みをしている生産者の方もいると思うが、道の駅、無人販売所等で販売している野菜はあまり検査されていないと思うので、不安がある。
- ・ADI という考え方を初めて知ったが、それぞれ体質の違いもあるため、一概に安全な摂取量とっていいのか心配。
- ・検査はしていても、全ての販売所ですべての農作物について検査ができるわけではないので不安が残る。
- ・ADI や ARfD という基準があっても、農薬を摂取したくない。見た目が悪くても、農薬を使用していない食品も販売してほしい。
- ・岐阜県・岐阜市が残留農薬の検査をしている事をこのアンケートで知った。検査されているのであれば、安心して食品を買うことができる。

○地産地消の推進について

- ・岐阜県の食材や野菜がもっと身近に購入できるフェアや機会を増やす取り組みをしてほしい。
- ・国内（県内）の食品の受給率をあげてほしい。
- ・岐阜県産の食材を使用している店はシールを店舗入り口に貼るなど、分かりやすく PR して、地産地消を推進した方がよい。
- ・GAP マークや GIAHS マークなどがあるが、岐阜県が認めたミナモのマークがあると分かりやすい。
- ・地産地消の食品は、安心して購入できるため、わかりやすい目印（マーク）をつけて選びやすいようにしてほしい。
- ・GAP 事業や JAP 活動、産直売場での生産者の見える化が農畜作物に対する安心感につながっていると思う。産直品の廃棄ロス低減やゴミのリサイクルやカーボンニュートラル

をもっと進めていけるとよい。

○その他

- ・健康食品、サプリメントに含まれている成分に不安がある。効果が過剰に公告されていると感じるものもあり、余計に不安を煽る。
- ・異常気象によって、食品の安全性に影響はないのか。
- ・アレルギーの表示を成分とは別にわかりやすく表示してほしい。アレルギー小麦(小麦は醤油のみ由来)」など、詳細に記載してほしい。
- ・水道水の汚染が気になり。毎日摂取してきたが、健康上の問題はないのか。一刻も早く飲料水の安全を確保してほしい。
- ・食料品店入店の際は、「手洗い」することを義務付けてほしい。
- ・買い物では、食品表示を見て買っているのに偽装が怖い。そういうことがないようにしっかりと取り締まってほしい。
- ・最近、市販のパンなどの日持ちが長くなっているように感じるが、防腐剤などの添加物が大量に入っているのではと心配。